

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の紹介



渡良瀬遊水地ロゴマーク

渡良瀬遊水地は2012年7月に国際的に重要な湿地であることから、ラムサール条約湿地に登録されました。

ラムサール条約の目的に掲げられた「**湿地の保全**」と「**湿地の賢明な利用**」に向けて、遊水地の歴史を踏まえつつ、「**遊水地の治水機能の向上**」、「**積極的な自然環境の保全再生**」、「**様々な利活用の促進**」、「**地域振興**」を図るため、関係機関や周辺住民・利用者等が十分に対話を行うことを目的に設立された協議会です。

協議会に関する情報はこちら→



渡良瀬遊水地に関するイベント情報はこちら→



発行者：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
事務局：国土交通省利根川上流河川事務所 調査課
〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北2-19-1
Tel.0480-52-3958
発行年月：2019年4月

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 構成団体の紹介

協議会は渡良瀬遊水地がある自治体（4市2町）、自治体等地域の代表、渡良瀬遊水地に関係する各種団体、関係官庁で構成されています。

・ラムサール湿地ネットわたらせ ①

《活動内容》遊水地の賢明な利用のための保全 普及啓発活動

2006年に設立した「渡良瀬遊水地をラムサール条約登録地にする会」が条約湿地登録の1年後の2013年に現在の名称に改称しました。登録後の遊水地の賢明な利用の実現のため、保全 普及啓発等様々な活動を行っています。

・渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会 ②

《活動内容》生きもの調査、観察会、貴重種保護活動、国交省との話し合い、講演会主催など
1990年(平成2年)に発足。市民サイドから渡良瀬遊水地の望ましいあり方を追求してきた。遊水地周辺自治体を含めた、自然と歴史の野外博物館構想「エコミュージアムプラン」の発信も続けている。
問合せ Tel.0282-23-1078 (狭山方)

・わたらせ未来基金 ③

《活動内容》渡良瀬遊水地環境保全活動、足尾山地緑化推進活動
ラムサール条約登録地、渡良瀬湿地帯の環境保全を行ないつつ、この地をエコミュージアムとして次世代に繋ぎ、様々な面で利用していく事、並びに渡良瀬川上流足尾山山地が緑を取り戻し、その恩恵を下流域に分け与えてくれるよう、緑化推進を図る事を目的としています。
年間通して渡良瀬遊水地や足尾で催しを行なっていますので、是非ご参加、またご入会していただき活動の意義をご理解いただくとともに、将来を創っていくきませんか。活動の一端で、渡良瀬のヨシ利用ため作成したたい肥「ヨシ腐土」も販売しています。花や野菜にお勧めです。
問合せ 携帯Tel.090-6938-5490(事務局 内田孝男)
HP: watarase-mirai.jimdo.com/

・谷中村の遺跡を守る会 ④

《活動内容》谷中村遺跡の保全と谷中村縁故者からの聞き取り
谷中村 村民および子孫の苦難を忘れないために、谷中村遺跡の草取りを行い、また歴史を調べ、縁故者から聞き取り、および関連地のフィールドワークを行っています。
問合せ Tel.0282-62-3006
HP http://www.coc9.ne.jp/~lkane/gon/



ラムサール条約湿地登録
渡良瀬遊水地



渡良瀬遊水地保全・利活用協議会



・渡良瀬遊水地ガイドクラブ ⑤

《活動内容》渡良瀬遊水地のガイド
2015年3月発足。ハートの谷中湖周辺で、遊水地の魅力をわかりやすく丁寧に伝えたいことをモットーにガイド活動しています。黄緑色のベストが目印です。お気軽にお声掛けください。
◆活動日 閉園日を除く毎日
◆活動時間 午前10時〜午後2時
◆料金 無料
◆団体は要予約
◆HP 栃木市HP参照

・小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会 ⑥

《活動内容》渡良瀬遊水地と小山市下生井地区における観光、及び、自然観察ガイド
おやま市民大学で2年間にわたり、渡良瀬遊水地の生立ちや、自然環境を学んだ精鋭ガイドが遊水地の良さをあますところなくガイドします。野鳥や植物観察、環境学習のお手伝いをします。下生井の文化、歴史遺産のご案内もする他、環境保全のボランティア活動も行います。

・渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会 ⑦

《活動内容》水上スポーツの普及 スポーツツーリズムの推進など
事務局 栃木市スポーツ振興課同僚同1218-1 栃木市渡良瀬遊水地ハートランド城内
住所 〒323-1104 栃木市藤岡町藤岡1218-1
問合せ Tel.0282-62-1300 Fax:0282-62-1301

・一般社団法人 栃木市熱気球クラブ ⑧

《活動内容》熱気球による保留の搭乗体験
当クラブのHP があります。| 栃木市熱気球クラブ | で検索して下さい、詳しい情報が明記されています！
※保留とは、船舶がロープで繋がれている状態と同様熱気球の籠(ゴンドラ)が四方をロープで繋がれて10m〜15mの高さまで上がったり下がったりして、搭乗して頂く体験です。
問合せ Tel.090-3245-4388(神島)



渡良瀬遊水地

栃木・茨城・群馬・埼玉の4県4市2町にまたがり、面積3,300ha、本州以南最大の湿地で、治水の要として首都圏の生命・財産を守っています。
2012年7月には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」に登録された、国際的に重要な湿地です。
絶滅危惧種のチュウヒをはじめ、貴重な動植物が多数生息する「自然の宝庫」です。

コウノトリ

かつては日本各地で大空を舞っていました。かつては日本各地で大空を舞っていましたが、圃場整備や河川改修による生息地(湿地)の減少と、農薬の使用などによる生息環境の悪化が原因で、一度は日本から姿を消しました。絶滅前に最後の生息地となった兵庫県豊岡市では、1965年から人工飼育と野外の生息環境保全が取り組まれ、2005年からは放鳥が行われています。その後、千葉県野田市や福井県越前市でもコウノトリの野生復帰に向けた取組が始まり、現在は約140羽が野外に生息します。渡良瀬遊水地では累次に飛来が確認され、特に2018年には長期滞留して遊鳥するなど、遊水地を拠点にしたエリアへの定着に期待が高まっています。
肉食性で湿地生態系の頂点に位置するコウノトリが生息することは、渡良瀬遊水地には生き物がたくさいる自然豊かな場所であるという証です。渡良瀬遊水地には希少種を含めて数多くの動植物が生息していますが、それらと同様にコウノトリも希少な鳥です。



遊水地周辺の水田で採食するコウノトリ
コウノトリってどんな鳥？
【体長】約100-110cm(翼を広げると約200-220cm)
【体重】4-5kg
【分布】ロシア極東地方や中国東北部などが主な繁殖地。
【生息地】群馬、茨城、河川、水田、遊水地など。
【生息環境】主に、渚地。
【行動範囲】巣の場所を中心に半径2km
【食性】肉食性で、ドジョウ・フナなど魚類をはじめ、ヘビ、カエル、バッタなど多様な動物を採食。飼育下では1日約500gを食えます。



渡良瀬遊水地にはコウノトリ以外にも多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境があります。自然観察にはこれらの資料も参考にしてください。

渡良瀬遊水地に飛来したコウノトリ

コウノトリの生息環境を保全・再生する取組が始まっています。渡良瀬遊水地周辺の水田で採食できるように、ふゆみずたんぼやなつみずたんぼに取組む農家が増えています。
エリアへの定着促進のため、遊水地にはデコイ(鳥が仲間を待っている様子を利用した模型)が設置されました。巣をつくるための人工巣塔も設置されています。



デコイに立つコウノトリ(一番左が本鳥です) 人工巣塔へ飛来するコウノトリ(提供:内田孝男氏)

わ 分かち合う、私たちの良い環境

利用者同士のトラブルを防止し、地域の環境を分かち合います。ストロボを用いた写真撮影はしない、ゴミは持ち帰る、犬の散歩はリードをつけて、などルールを尊重して、気持ちよく利用しましょう。

た 食べ物をあげないで

野生生物へのエサやりは、食べ物を獲得する能力を低下させたり、感染症を誘発したりすることがあります。人工的なエサに慣れると人を襲ったり、作物を荒らしたりする被害につながる場合もあります。

ら 来訪時には細心の注意を

農地(田や畑、あぜ道)などの私有地、河川管理施設などの立入禁止区域には無断で入らないでください。田畑では、農作物の毀損や病原菌媒介の恐れがあります。立入制限は植生保全のほか、自身の安全を守る意味もあります。自動車は、駐車位置に注意しましょう。

せ 接近しすぎない

神経質で臆病な野生生物は、危険を感じると別の場所へ移動してしまいます。抱卵期や子育て期には、卵やヒナを放棄してしまうこともあります。稀に好奇心旺盛で近づいてくる個体もありますが、驚かさないよう急な動きはせず、ゆっくりと退避するか相手が離れていくのを待ちましょう。(コウノトリ生息地の先進地域では、150m以上離れて観察することが推奨されています。)

渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会

- ・ 思川右岸生井地区堤防強化対策協議会
- ・ 巴波・永野川築堤、堤防改修工事対策協議会
- ・ 野木町川西地区治水事業促進連絡協議会
- ・ 藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡協議会
- ・ 小山市渡良瀬遊水地治水推進・ラムサール賢明な活用・周辺整備推進期成同盟会
- ・ 特定非常勤活動法人 スカイダイブ藤岡
- ・ 渡良瀬遊水地利用組合連合会



- ・ 古河市行政自治会
- ・ 藤岡土地改良区
- ・ 藤岡地区自治会連合会(栃木市)
- ・ 藤岡地区自治会長会(栃木市)
- ・ 古河市教育委員会
- ・ 赤麻地区自治会連合会(栃木市)
- ・ 生井地区自治会連合会(小山)
- ・ 栃木市教育委員会
- ・ 野木区(野木町)
- ・ 小山市教育委員会
- ・ 板倉町行政区長会
- ・ 野木町教育委員会
- ・ 加須市自治協団連合会北川辺支部
- ・ 板倉町教育委員会
- ・ 加須市教育委員会

・ 一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 ⑩ Tel.0282-62-1161

- ・ 古河市 ⑪ Tel.0280-92-3111
- ・ 栃木市 ⑫ Tel.0282-62-0919
- ・ 小山市 ⑬ Tel.0285-22-9354
- ・ 野木町 ⑭ Tel.0280-57-4260
- ・ 板倉町 ⑮ Tel.0276-82-1111
- ・ 加須市 ⑯ Tel.0480-62-1111
- ・ 環境省関東地方環境事務所野生生物課
- ・ 国土交通省利根川上流河川事務所

※団体の○番号は裏面のイベント情報の問合せの番号と対応しています。

自然環境の保全・再生に関するイベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
2.4,7.10月	放射線物質検査	フナの検査、検体採捕	⑤	⑨
2.5,7.12月	ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦	ヤナギやセイタカアワダチソウの抜き取り活動	⑫	⑬
3月	ヨシ焼き	貴重な湿地環境を守るために、遊水地内全域のヨシを焼く	※2	※1
4月	クリーン作戦	ゴミ拾い清掃活動	※1	※1
4下~5月上旬	ワカサギ卵放流	卵の播種	⑤	⑨
4月中旬~※	湿地の保全活動	ヤナギ、セイタカアワダチソウ除去作業を実施	⑪	③
5月	希少植物保全活動	外来植物除去、抜き取り	⑥	⑫
5月~6月	おさかなワイワイ大作戦	第2調節池の池に生息する外来魚を、地引網にて捕まえ、外来魚と在来魚に分けたり、捕まえた魚等の観察をする	⑫	⑬
5月下,7月上旬,10月中旬	のぎ水辺の楽校 外来植物等除去活動	セイタカアワダチソウ等の外来種の除去活動	⑫	⑭
7月下,8月下旬	外来生物捕獲作戦	アメリカザリガニ、オオクチバス除去	⑪⑫	③
10月中旬	外来植物除去作戦	セイタカアワダチソウ、オオバクサ等除去(企業によるCSR活動)	⑫	③
11月,12月	フナ放流	放流	⑤	⑨
12月上旬	湿地の保全活動	環境学習フィールドの水辺環境保全と観察路整備	⑨⑫	②
12月上旬	ヨシ原保全活動	ヨシ刈りとヨシの利用	⑥	③

スポーツに関するイベント

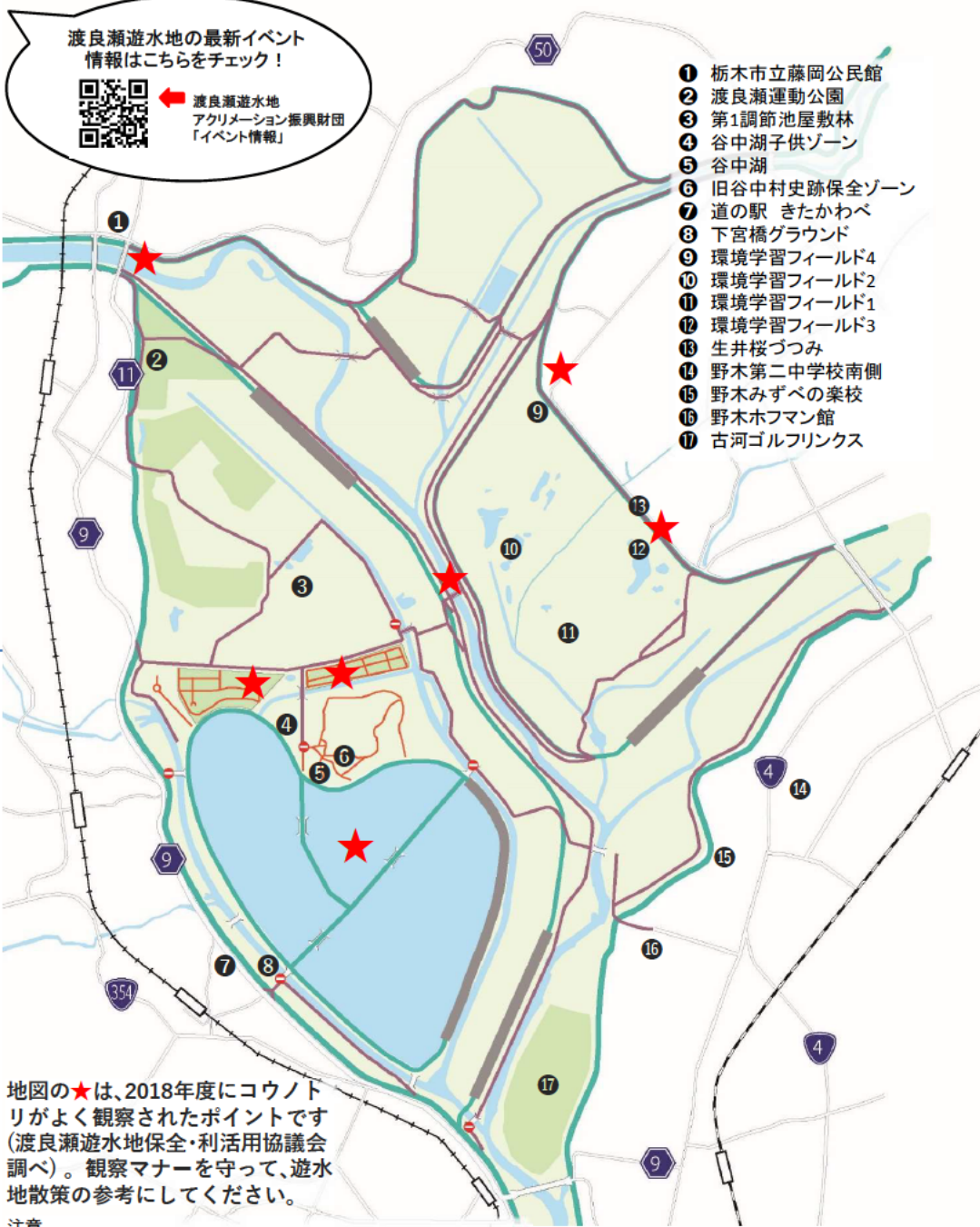
時期	名称	内容	場所	問合せ
2月上旬	バレンタイン係留活動	大好きな人と気球に体験搭乗	②	⑧
3月下旬	古河まぐらがの里・花桃ウォーク	古河市内や渡良瀬遊水地内を巡るウォーキングイベント	※2	⑪
4.5.6.7月	渡良瀬ハルーンレース 第1戦ホンダダグランプ	競技がありその関係留活動	②	⑧
4月上旬	ウォーク・ザ・わたらせ	ウォーキング	※4	③
4月下旬	渡良瀬遊水地ウォーキング大会	渡良瀬遊水地の自然を満喫しながらのウォーキング	※2	⑦
5月初旬	ウォータースポーツ教室	カヌー・ヨット・ボートの体験	⑤	⑫
6月上旬,10月上旬	遊馬の時間・夏 秋	大型馬のデモンストレーション/馬とかけっこ/ポニーとのふれあい体験	②	⑦
8月中旬	Eポートレース 渡良瀬大会	10人乗り手こぎボート(Eポート)を利用したレースを実施	⑥	※1
年間	フリーフライト	年間通して土、日に天候条件が良い時に行う	※2	⑧

複合型イベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
3月中旬	三県境フェア	三県境ガイドツアー、特産品販売等	⑦	⑯
4月初旬	渡良瀬ハルーンレース・豚宮さくらまつり	熱気球の大会と桜の共演が楽しめるイベント	②	⑫
4月中旬	生井桜まつり	思川桜を眺めながらステージイベントや飲食物の販売等、地域の魅力が詰まったまつりを開催する	⑮	⑬
5月	煉瓦窯感謝祭	各種ワークショップ等の実施	⑮	⑭
7月	渡良瀬遊水地フェスティバル	自転車競技と同時開催のイベント	④	⑫
7月下旬	煉瓦窯フェスタ	各種ワークショップ等の実施	⑮	⑭
7月下旬	ひまわりフェスティバル	各種ステージイベント等の実施	⑮	⑭
10月	れんがまつり	各種ワークショップ等の実施、シンポジウムの開催	⑮	⑭
10月上旬~中旬	渡良瀬遊水地まつり in KAZO	特産品販売・体験学習・遊水地ツアー等	⑧	⑯
12月	煉瓦窯冬フェスタ	各種ワークショップ等の実施、イルミネーションの点灯式	⑮	⑭

※1 ①~⑮に問い合わせいただき、詳細を確認してください
 ※2 渡良瀬遊水地全域
 ※3 渡良瀬遊水地内(状況により会場は変わります)
 ※4 渡良瀬遊水地、渡良瀬川流域
 ※5 第1調節池及び第3調節池
 ※6 群馬の水郷(群馬県邑楽郡板倉町大字岩田2941-3)

渡良瀬遊水地関連イベント情報



- 1 栃木市立藤岡公民館
- 2 渡良瀬運動公園
- 3 第1調節池屋敷林
- 4 谷中湖子供ゾーン
- 5 谷中湖
- 6 旧谷中村史跡保全ゾーン
- 7 道の駅 きたかわべ
- 8 下宮橋グラウンド
- 9 環境学習フィールド4
- 10 環境学習フィールド2
- 11 環境学習フィールド1
- 12 環境学習フィールド3
- 13 生井桜づつみ
- 14 野木第二中学校南側
- 15 野木みずべの楽校
- 16 野木ホフマン館
- 17 古河ゴルフリンクス

地図の★は、2018年度にコウノトリがよく観察されたポイントです(渡良瀬遊水地保全・活用協議会調べ)。観察マナーを守って、遊水地散策の参考にしてください。

注意
 I. 「主催・問合せ」の番号は表面の団体紹介と対応しています。連絡先は表面をご参照ください。
 II. この一覧には例年のスケジュールを掲載しているため、実施されない場合もあります。ご了承ください。



学習会・観察会など

時期	名称	内容	場所	問合せ
1月1日	初日の出探鳥会	初日の出を迎えながらのチュウビの飛び立ち観察	※3	①
1月	チュウビのねぐら入り観察会	広大なヨシ原と湿地環境を好むチュウビ(タカ科、国絶滅危惧ⅠB類)の観察をする	※3	⑬
1.8月	渡良瀬遊水地野鳥観察会	冬鳥の観察、ツバメのねぐら入り	※3	⑭
3月	ヨシ焼き観察会	小山市役所からバスで向かうヨシ焼き観察	⑮	①
4.5.9月	渡良瀬遊水地植物観察会	渡良瀬遊水地の植物の観察会	※3	⑭
4~1月※	渡良瀬遊水地探鳥会 ※4月上旬,以後7.11.1月	野鳥観察	⑥	③
4上~11月中旬	植物観察会	四季を通じた貴重植物の生育状況の観察	⑥	⑩
5.9, 10.12月	ラムサール講座 5月(植物・昆虫) 9月(植物) 10月(昆虫) 12月(野鳥)	ガイド講師と一緒に渡良瀬遊水地に生息する貴重な植物や昆虫、野鳥を学び、観察する	⑫	⑬
5下旬~2月中旬	野鳥観察会	谷中湖周辺で四季を通じた野鳥の観察	⑤	⑩
5月上旬	湿地のグリーンウェイ	自然観察会(野鳥、植物、昆虫)	⑥	③
6月上旬	観察会と貴重種の保護活動	植物、昆虫、野鳥の観察と貴重種を保全する環境づくり	⑩	②
7月下旬	夏休み宿題サポート教室	子ども達の夏休みの自由研究のお助け体験型イベント	④	⑩
8月	ツバメのねぐら入り観察会	繁殖を終えて南へ渡る前の約10万羽のツバメが渡良瀬遊水地に集結する様子を観察する(様々な団体で実施しています)	※3	⑫⑬
10月上旬	秋の観察会	植物、昆虫、野鳥の観察	⑨⑩	②

ガイド・ツアーなど

時期	名称	内容	場所	問合せ
3月	ヨシ焼き見学バスツアー	ヨシ焼きの見学	⑮	⑭
7.8月	渡良瀬遊水地ハートランドぐるり旅	ボランティアガイド付きのミニツアー	②	⑫
10~11月	バスツアー	谷中村事件関連地視察	⑥	④
通年	ボランティアガイド ※谷中湖の閉園日除く	谷中湖周辺の案内	⑤	⑤
通年	ボランティアガイド	渡良瀬遊水地の案内(第2調節池・生井地区)	⑮	⑥
通年	渡良瀬遊水地エコ・アグリツアー	野鳥・サイクリング・フォト等、渡良瀬遊水地の魅力と農業やその他の観光資源と絡めたツアーの実施	※2	⑬

その他のイベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
1月下旬	生物多様性推進活動	屋敷林保全の防火帯作り	⑨	③
3月上旬	ヨシ焼き前クリーン作戦	ヨシ焼き前のゴミ拾い	※5	③
3月	ヨシ焼きおもてなしブース	ヨシ焼き当日、地元住民によるおもてなしブースを設置	⑮	⑬
5~6月, 9~10月	群馬の水郷 揚船谷田川めぐり ※期間中の土曜、日曜、祝日	揚船で谷田川(2kmコース)を約60分かけて周遊する	※6	⑮
6.7月	谷中村史跡保全ゾーン草取り ※6月下旬の日曜/7月下旬の日曜	草取り	⑥	④
6月上旬	ホテル祭り	ホテルの鑑賞会	⑮	⑭
7月中旬	講演会	ラムサール湿地とエコミュージアム	④	②
8月第1土曜日	古河火花大会	3尺玉を含む打上数約2万発の火花大会	⑮	⑪
11月	渡良瀬遊水地フォトコンテスト	渡良瀬遊水地を対象としたフォトコンテストを実施	※1	※1
12~1月	縁故者講話会	谷中村事件関連のエピソードを聞く	④	④
12月上旬	第2調節池フォトコンテスト	渡良瀬遊水地第2調節池の小山市域を対象としたフォトコンテストを実施	⑮	⑬